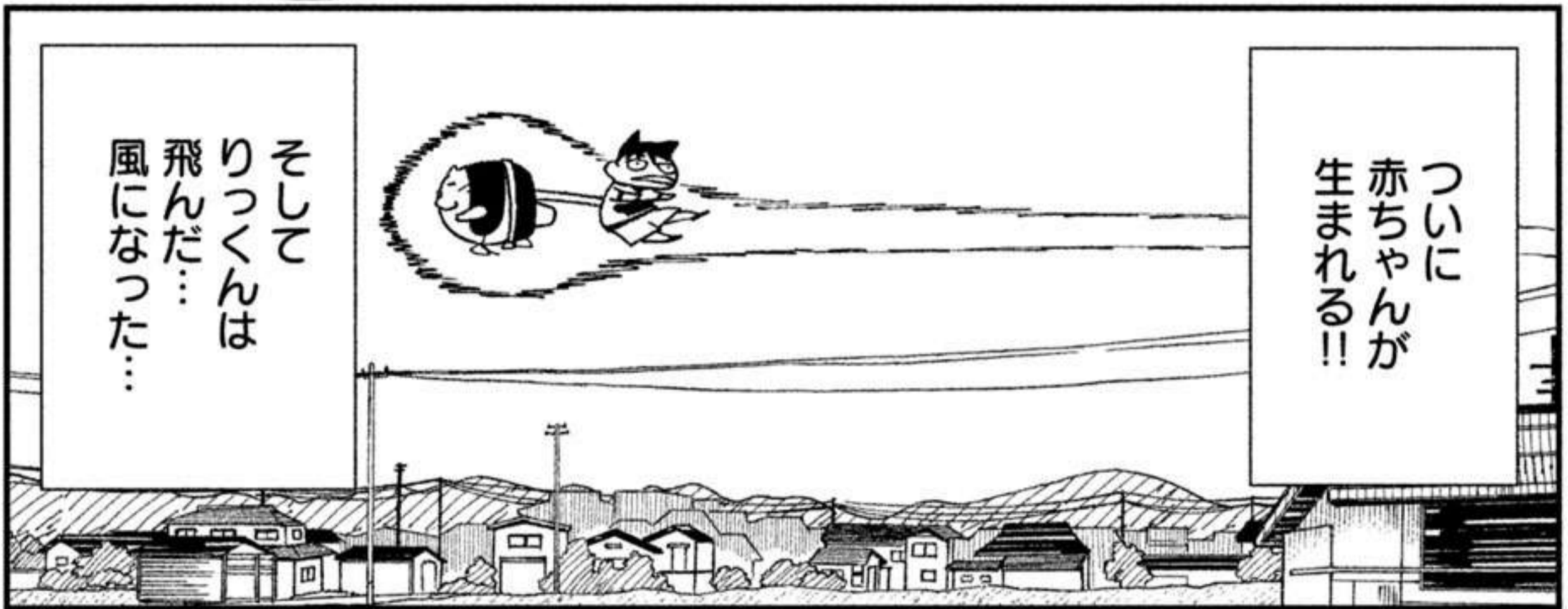
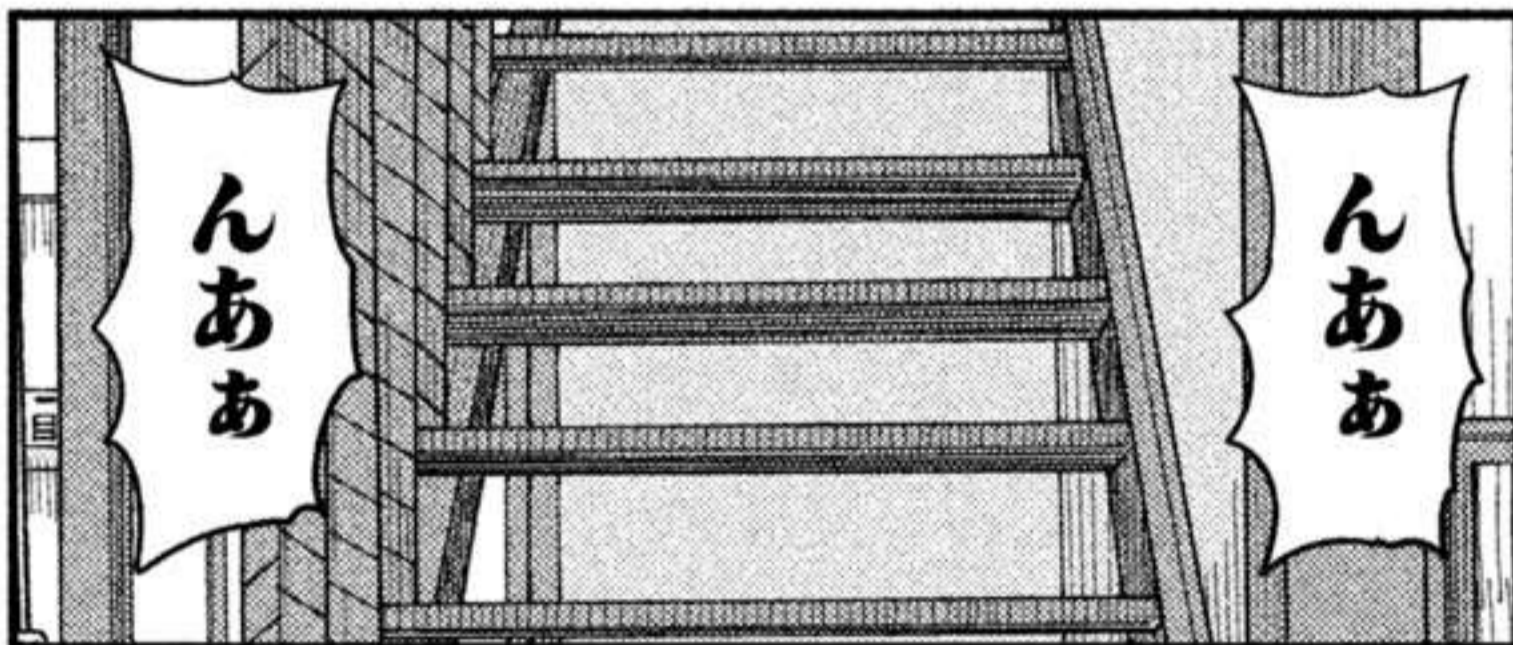


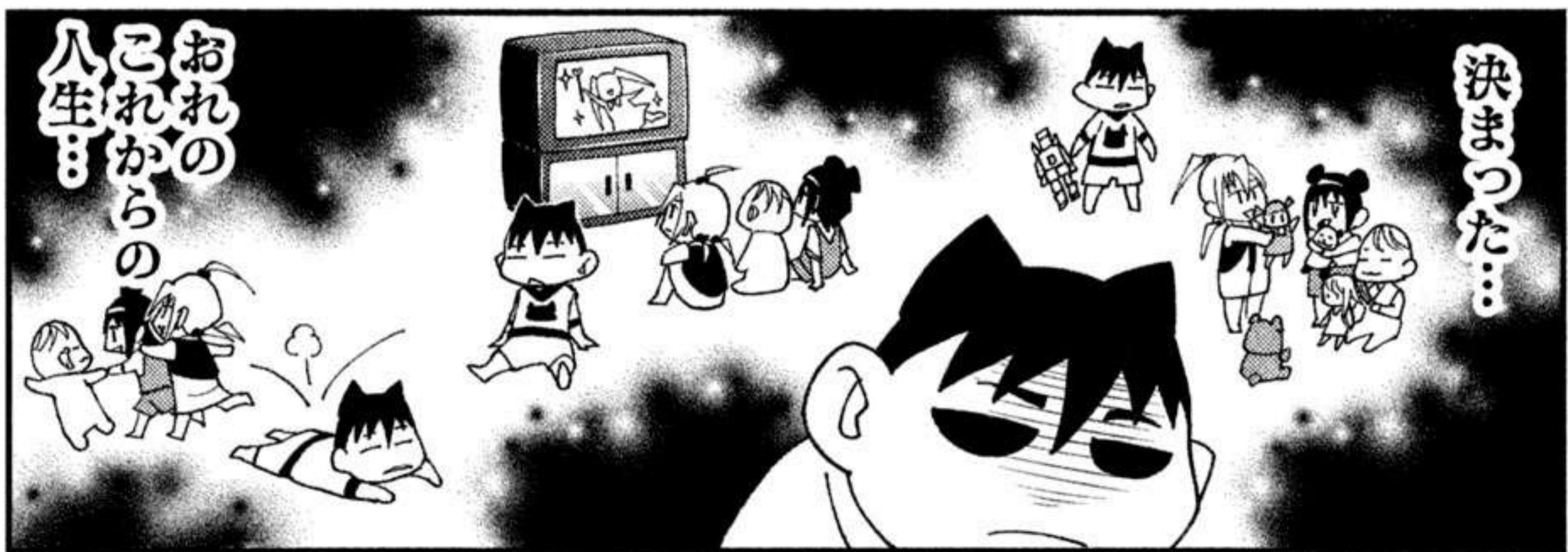
043 りっくんと元気な赤ちゃん



風になった...!!!









ほら
かわいいぞ

りくも
もつと
近くで
見てみる



落ち込むな
お父さんが
ついてるぞ

肩身が
狭く
なるが

男同士
これからも
力を合わせて
がんばろう



あら
あら

……
けつ
痛い……



……!!



いい蹴りね

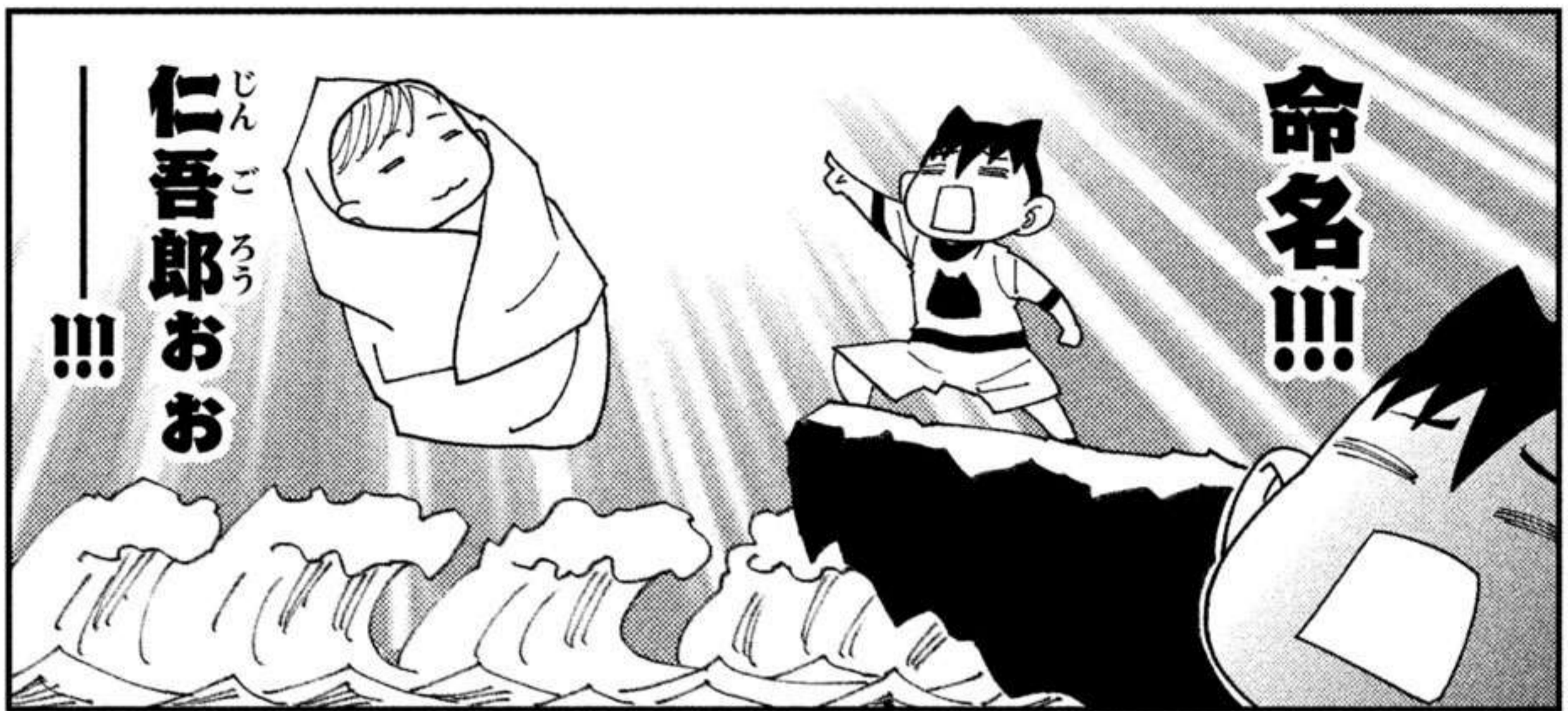
男の子
みたい

サッカーとか
やらせたら
いいかもね



そうだ
お前は男だ

おれが
男として
育てて
やる!



仁じん吾ご郎ろうおおお
!!!

命名!!!



却下します



そうか
無事
生まれたか

よかったな
りっくん

また生えた



山の神様は特に役に立たなかつたけどいちおうお礼言っとくよ

ありがとう

一言多いな



なまー！

うん



名前は
決まったのか？



あ
す
づ
き
明日月
な
さ
菜彩！



また何か
あったら
頼るかも
しれない

これで
おれのお願いは
今はないけど



うむ
楽しみに
してるぞ

今度ここに
連れてくるよ



それは
特別なこと
なのだぞ

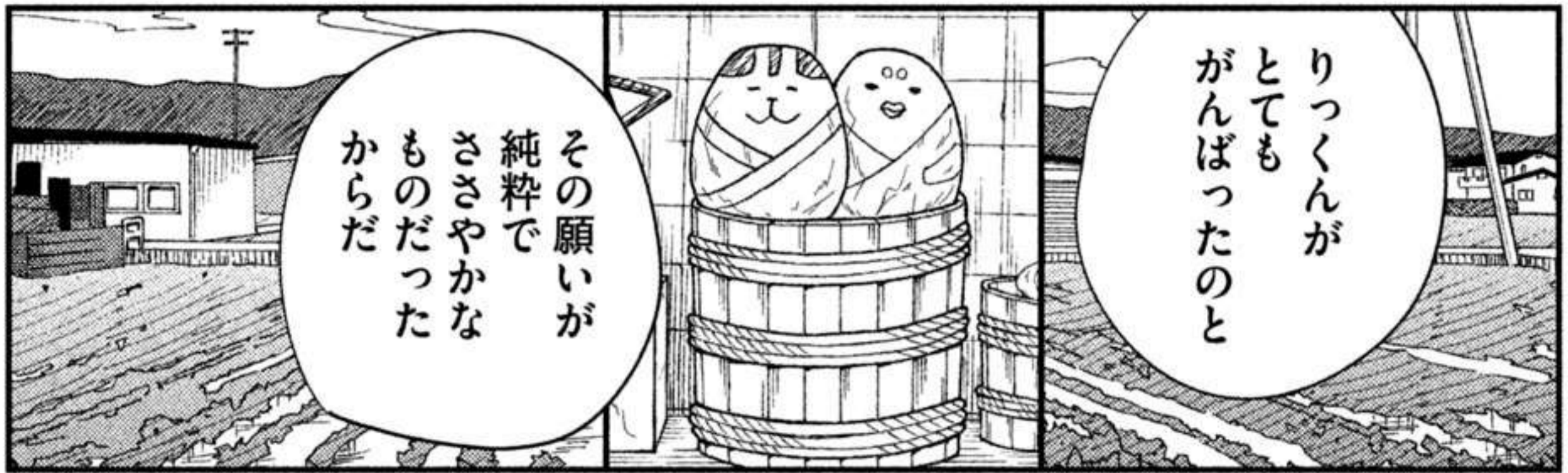
今回神は
りつくんの願いを
叶えてくれたが



りつくんよ



……



その願いが
純粹で
ささやかな
ものだった
からだ

りっくんが
とても
がんばったのと



ただ
見守られる
ということが

人には
それが重要
なのだよ

え!? じゃあ
意味ない
じゃん

本来神は
私のように
ただ見守るだけ
なのだ



だから
この国の神は
どこにでもいる
人のすぐ近くに

それだけで
人は安らぎ
畏れる

いつも
神様が
見ていて
くれる



ふっまだ
りっくんには
よくわからんか

.....
?

それが
大切なのだ

人はひとり
ではない

